

◇村 田 薫 君

○議長（高橋 猛君） 最初に、5番、村田 薫君の一般質問を許可いたします。村田 薫君、登壇願います。

（5番 村田 薫君 登壇）

○5番（村田 薫君） おはようございます。

通告に従いまして一般質問を行います。

質問事項は、美郷町の地方版総合戦略策定の考えはということです。内容に入ります。国は、昨年9月にまち・ひと・しごと創生本部を設置し、去年11月にはまち・ひと・しごと創生法及び地域再生法の一部を改正する法律を可決しております。同本部では平成26年度補正予算で処置した地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用した事業を実施することとし、美郷町には2種類の交付金合わせまして1億円が分配されておると認識しております。交付金の1つ目である地域消費喚起・生活支援型につきましては、当町では、美郷町プレミアム商品券、美郷に泊まろう宿泊券、多子世帯応援プレミアム商品券の事業を実施しております。もう一つの地方創生先行型については、今後策定される美郷版総合戦略に盛り込まれることを想定する事業を先行的に実施するもので、当町では13事業を実施中であると認識しております。

さて、この地方版総合戦略は、人口の推移などを踏まえ、今後5年間の地域活性化方針を年度内に策定すると地方創生先行型交付金を活用し事業ができるとされておりますが、この内容について質問いたします。現時点におきまして事業予算規模は国、地方合わせて約2,000億円とされておりますが、流動的な面もかなりありまして、答弁は答えられる範囲内をお願いいたします。

1つ目として、美郷版総合戦略の柱立てとなる理念について、どう考えているのか伺います。

2つ目は、現在実施中の地方創生先行型事業では4つの基本目標が設定されており、1つ目の安定した雇用を創出する事業では新規就農者等支援事業を、また若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業では高学年児童放課後対策事業を、また時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する事業では観光資源データアーカイブ化・活用コンテンツ作成事業とみさとびと育成プログラム事業を実施しておりますが、これらの事業の進捗状況と重要業績評価システムであるところのKPIの制定内容について伺います。

○議長（高橋 猛君） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） おはようございます。ただいまのご質問にお答えいたします。

地方創生は、安定した雇用の場や住みよい環境づくり、地方への人の流れを生むことなどが

ら、人口減少に歯どめをかけ、活力ある地域社会を維持することを国と地方が一体となって目指すものです。その根拠法であります、議員もおっしゃいましたがまち・ひと・しごと創生法第10条には、「市町村は、国や都道府県のまち・ひと・しごと創生総合戦略を勘案して、当該市町村の区域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画、いわゆる市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略を定めるよう努めなければならない」と規定されております。そのため、美郷版総合戦略の柱立てについては、まち・ひと・しごと創生総合戦略において国が定めた基本目標、「地方における安定した雇用を創出する」「地方への新しいひとの流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」とする4つの目標と機軸を一つにすることで、町の取り組みが効果的・効率的に目標に近づけることを理念に策定しているところです。

次に、個別の事業についてですが、新規就農者等支援事業については、重要業績評価指標KPIを新規就農者2人と定めております。現在大仙市東部新規就農者研修施設において2人が研修中ですので、今後も順調に推移しますと目標は達成する見込みとなっております。

高学年児童放課後対策事業については、小学校4年生から6年生までの児童を対象とした放課後児童クラブの運営ですが、KPIを利用児童数90人と定めております。現在のところ必要とするご家庭が少なく3地区合わせて37人となっておりますので、現在の達成率は41%強という状況です。観光資源データアーカイブ化・活用コンテンツ作成事業については、KPIをまち歩きナビのダウンロード件数500件と定めております。5月上旬に事業検討チームを立ち上げ、現在ナビアプリ導入に係る業者選定作業中のところで、年内に導入できるように進めているところです。したがって、KPIの達成状況については年度末の把握となります。

最後にみさとびと育成プログラム事業ですが、2つの事業を実施します。1つは、美郷中学生を対象としてイングリッシュキャンプを実施するもので、ことし12月上旬に実施予定です。KPIを英検3級以上の受験者対前年度比23ポイント増と定めておりますので、KPIの達成状況については今年度末の把握となります。もう一つは、各界のスペシャリストを講師にお招きしお話を伺う美郷カレッジですが、前期後期合わせて7回の開催予定です。KPIを受講者数200人と定めておりますが、これまでの前期3回分で191人のご参加をいただいておりますので、後期4回の実施で確実にKPIの数字は達成する見込みとなっております。以上です。

○議長（高橋 猛君） 再質問ありますか。（「ありません」の声あり）

これで、5番、村田 薫君の一般質問を終わります。